

学校だより

「チャレンジ! なかよし! 進んで学ぶ 東の子」



# リテツの本

7月号

令和3年6月30日  
横浜市立高田東小学校

## つながることによって広がる学習

校長 小田 和宏

6月24日の朝、「読み聞かせて来ました♪」と図書ボランティアの方が来校してくれました。昨年度は実施できなかったのですが、2年ぶりの読み聞かせです。以前は、ボランティアさんの前に子どもたちが集まって聞いていましたが、感染防止対策を考え、モニターに映した絵本を自分の座席で見ながら聞く形をとりました。この日は、1年生と2年生、4・5組の教室で読み聞かせをしていただきました。子どもたちが、本の世界を味わい聞き入っている姿に、うれしくなりました。



6年生の家庭科の学習では、ミシンボランティアの方に子どもたちの学習支援をしていただきました。3~4名の児童に対して、ボランティアの方がついてくださることで、こまやかな支援が実現でき、子どもたちの達成感につながっていました。



また、今年度は、高田小学校と連携し、一人一台のミシンを確保するために、学習時期を調整して足りない台数をお互いに貸し借りし、学習時に児童がミシンを共用せずに学習を進められるようにしました。

2年生と3年生は、畑で野菜の生産を行っている方に野菜作りの疑問に答えていただいたり、野菜を育てるコツを教えていただいたりしました。実際の畑や畑で使っている道具を見せていただき、土作りや野菜を元気に育てるために気をつけていることなど、具体的な内容を話していただいたことで、子どもたちの学習が深まり、さらに「追究しよう」という気持ちにつながっていききました。



こうした活動は、学校・地域コーディネーターの働きかけや地域学校協働本部での情報共有と、それに応じていただいた方々によって実現できたことです。学校と保護者の方、学校と地域の方を結ぶ取組が、子どもたちの学習を広げ、ダイナミックな活動につながっていきます。

過日、今年度1回目の高田中学校ブロックの学校運営協議会が行われました。民生委員の方も参加しているこの会では、「ゆずの樹」との連携についても今後の可能性が広がる話ができました。

また先日、高田地域ケアプラザにて、高田町連合町内会の町内会長の方々、地域ケアプラザの方、区役所の地域連携担当の方、中学校ブロック3校のPTA会長・校長が集まり、学校も含めて地域のつながりを広げ深めていく情報交換会が開かれました。

こうした取組を一つひとつ積み重ねていくことが、社会に開かれた教育課程の実現につながっていくのだと思います。

## 7月の生活目標 安全に気をつけて生活しよう

## 7月の保健目標 夏バテをふせごう



### 1・4年 交通安全教室

1年生は交通安全教室で道路の安全な歩き方について学習しました。

道路にはたくさんの危険が潜んでいるということを知り、安全に気をつけることの大切さを学びました。校庭を道路に見立てて、横断歩道の歩き方や歩道に自動車が停まっていた時の安全の確かめ方を実際に体験しました。

子どもたちはマリノスケのお手本に習って、車が来ていないかを確認して、安全に歩くことができました。

4年生は交通安全教室では、自転車の乗り方とトラックの運転手から見えないところについて学習しました。普段当たり前に使っている自転車には注意すべきことがあるということを改めて知る機会となりました。安全な使い方とそのためにはどこに気を付けていけばよいのかを実際に体験して確かめることで、自分の使い方を振り返るきっかけにできました。



マリノスケに正しい道の歩き方を教えてもらいました！



右よし！左よし！右よし！安全を確認してから横断歩道を渡ります！



トラックから見える景色の違いと子どもたちから見える景色の違いを確認しました。



マーメイド達とマリノスの応援歌に合わせて、一緒に体をいっぱい動かします。

### ミシンボランティア

巻頭にもありましたが、6年生の家庭科では6年生の保護者だけでなく、多くの方にご協力いただいています。ミシンが一人一台あっても、ボランティアの方がいらっしやらなければ今回の活動は成り立ちませんでした。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。



### 「野菜名人さん」

子どもたちは親しみをもってそう呼んでいます。野菜を育てるために大切なことや、子どもたちの素朴な質問にもやさしく答えていただきました。





## 5年 稲作（しろかき）

5年生はお米作りをスタートしました。5月末に代かきを、6月上旬に田植えを行いました。

代かきは土の中を子どもたちが歩き回って、土を耕していく作業です。くつを脱いで水を張った田んぼの中に入るので、普段は感じることのできない土の感触を楽しんでいました。

次に田植えをしました。JA横浜の方にお越しいただき、イネの植え方を教わりました。プロに教わったことを生かして、集中してイネを植えていく姿が見られました。

山形県の農協の方からいただいた稲です。これから学年全員で大切に育て、収穫を目ざしていきたいと思います。



代かきをして、田に足を入れる子どもたち。最初は恐る恐るでしたが、途中からとても楽しそうでした。



イネの苗をていねいに1束ずつ、土の中に入れていきます。

## 3年 タグラグビー教室

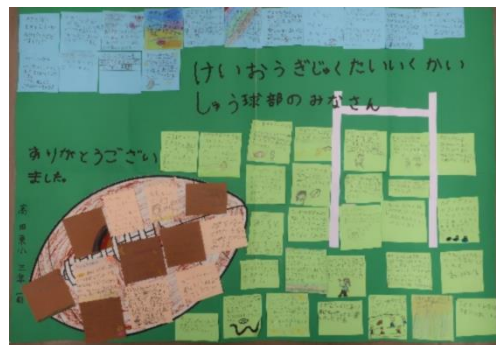
3年生の体育で行っているタグラグビーのサポートに慶應義塾大学の蹴球部の方が来校しました。子どもたちは試合を行い、タグをとることや、パスは後ろに投げるなど実践しながらルールを教わりました。コーチのアドバイスのもと子どもたちはタグラグビーの面白さに気づき、ゲームに熱中していました。



「腰を下げて、おへその前でボールを捕るといいよ。」と教わりました。



ボールをもっている人のタグをとります。タグをとられたら後ろにパス！



「楽しかった」「ルールがわかっておもしろかった」という感想が多く出ました。

6月は様々な活動で「その道のプロ」が来校していただきました。それぞれの様子を見ると初めは緊張していても、その話に大きくなずき納得する、そして新たな疑問について質問する…といった場面が多く見られました。こうした経験は、他の教科や活動につながり、そして生かすことができます。その後も「これは〇〇さんに聞いたらいいいのではないか。」「きっと△△さんなら詳しいことを知っているはずだ。」といった子どものつぶやきが聞かれるようになりました。子どもたちの学習が豊かに広がるよう今後も支援を続けていきます。